

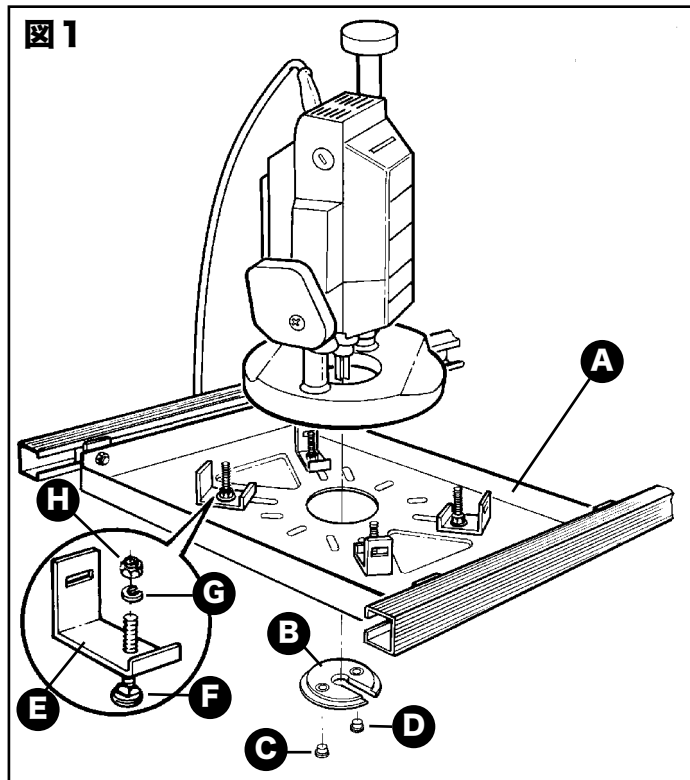
組み立て&取り扱い説明書

警告 ご使用の前に必ずこの組み立て&取り扱い説明書を良くお読みになり、製品について十分ご理解の上で、正しくご使用ください。

ルーターの取り付け

アライメントディスク(B)を使うと、ルーターを正確かつ容易にスライドプレートへ取り付けることができます。

まず、ストレートビットをルーターに取り付けます。アライメントディスクは、1/2インチ(12.7mm)のビットに合うサイズの穴があいています。もしも、あなたがルーターに取り付けるお手持ちのストレートビットが1/4インチ(6.35mm)や8mmの場合は、アダプターリング(CまたはDの適切なほう)を使用してください。アダプターリングはアライメントディスクの中心にぴったり合うサイズになっています。ビットをルーターに取り付ける前に、アダプターリングをシャンクに取り付けてください。



スライドプレートをワークセンターのベアリングチャンネルにセットしてください。

スライドプレートにアライメントディスクをセットし、ルーターのビットをアライメントディスクの中心の穴に通します。ビットが穴から突き出るようにルーターの高さを調整してください。アライメントディスクをシャンクに押し当ててカチッとロックしてください。

次にスライドプレートの穴にアライメントディスクを固定します。これでルーターは正確に穴の中心に位置しました。

四つのロケーター(L字型の金具)(E)をプレートの長い溝に、コーチボルト(F)、スプリングワッシャ(G)、ナット(H)を用いて図1のように取り付けます。ロケーターの低い側はルーターのベース部の側面に押し当てるように取り付けます。まだナットは固く締め付けしないで下さい。

ルーターのベース部の形状が円形であれば4つのトップクランプが確実にルーターを固定できる位置をルーターを回して探します。この時、ルーターのハンドルが出来るだけスライドプレートからはみ出さないように取り付けてください。

ルーターのベース部の形状が正方形または長方形の場合は、同じように確実に固定できる位置を探しますが、何度か位置を変えながら探す必要があると思われます。下記の取り付けに際してのトラブルシューティングの項を参照してください。

注意: 四つのクランプはルーターのベース部を出来る限り等間隔で固定してください。ロケーターを取り付ける位置が決まったら、ナットを確実に締めつけてロケーターを固定します。ベース部との間に隙間が出来ないように、確実に固定してください。

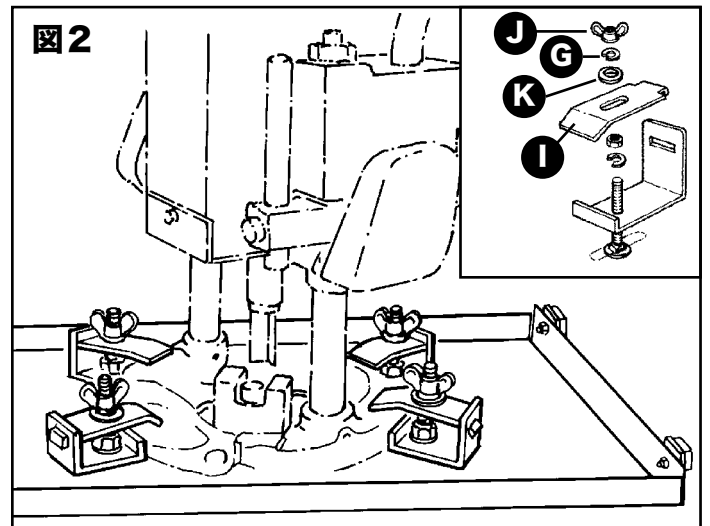


図2のようにトップクランプ(I)をロケーターの穴に差し込み、平ワッシャ(K)、スプリングワッシャ(G)、蝶ネジ(J)の順に取り付けます。この時、トップクランプの向きに注意してください。トップクランプは必ず下向きになるように取り付けます。

ルーターの取り付けが終われば、アライメントディスクは取り外し、次回使用するまで保管してください。

取り付けに際してのトラブルシューティング

1. ルーターベース部の形状により、トップクランプで確実にルーターを固定できない場合は、ルーターベース部の形状に合うように、トップクランプを加工してください。
2. トップクランプの加工をしても、まだルーターを固定できないようなケースはまれですが、その場合はロケーターの位置を変える必要があります。ジグソー取り付け用の他の穴を使用するか、スライドプレートにドリルで7mmの穴を開けて下さい。
3. D型ハンドルのルーター(マキタ3601Bなど)を取り付ける場合は、ハンドルをスライドプレートの対角線上に取り付けてください。

オーバーヘッドルーター

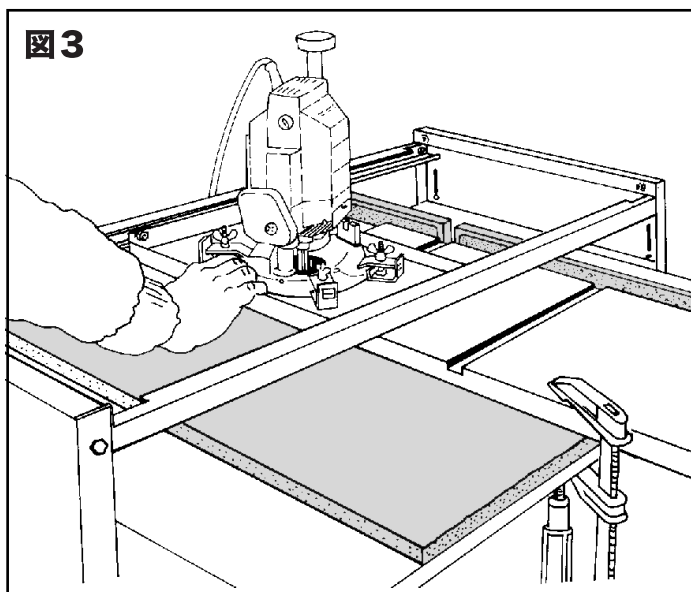
スライドプレートをワークセンターのベアリングチャンネルにセットしてください。スライドプレートがスムーズに前後に動くかチェックしてください。シリコンスプレーをスプレーするとよりスムーズに滑ります。オーバーヘッドルーターでは、ワークセンターのテーブルを使用します。

ルーターをいっぱいに下げた状態でも、おそらくカッターは加工材に届かないでしょう。この時、テーブルを持ち上げないで下さい。テーブルの上に、18mm厚のパーティクルボードまたは類似の板を置きます。

万が一、テーブルを持ち上げた場合は、作業後には必ずテーブルを元に戻してください。そうしないと、丸ノコを装着したとき、テーブル裏のフレームバーを切断してしまいます。

クロストレンチング(横溝掘り)

飾り棚、食器棚の横板などのように長く、幅の広く、重い木材の溝掘りに、このクロストレンチングは最適です。



ルーターのスイッチではなくワークセンターのスイッチを使用し、ルーターではなくスライドプレートを押し出すようにします。カッターの回転の力により材料を横に押し出す力が働くので、なるべくクランプで材料を固定して作業してください。

ルーターで作業する前に、必ず電源を切った状態で、加工材を取り除いてからスライドプレートを端から端までいっぱい動かして、カッターが何にも当たらないことを確認してください。

深い溝を掘る場合は、一度に深い溝を掘るよりも、浅い溝を2~3回繰り返して掘るように加工してください。こうすると、より正確かつスムーズに仕上がりに、ビットの切れ味も持続します。

改良のためこの製品の機能および形状は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

アングルトレンチング(斜め溝掘り)

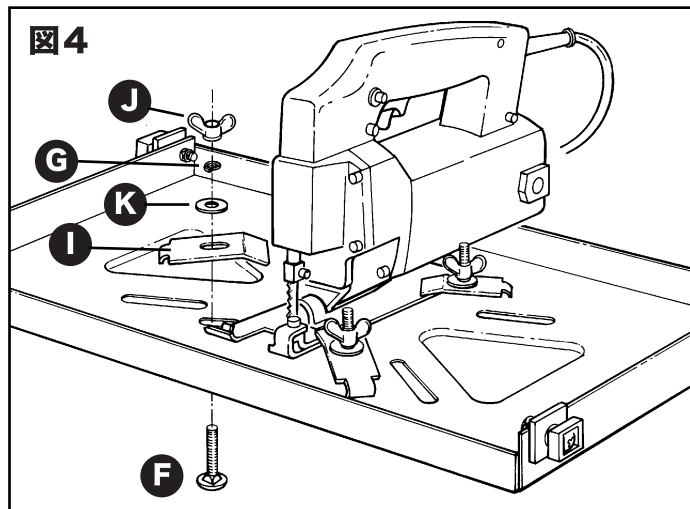
階段の横板など角度をつけた溝を掘る場合は、ストッパーあるいはクロスカットフェンスをはずし、まっすぐな木材を角度をつけてクランプで固定します。可能であれば、加工材もテーブルにクランプで固定して加工してください。

溝の目隠し

溝を途中で止めるには、ベアリングチャンネルにストッパーとなる木片をクランプで取り付けて加工すると便利です。

旧型のルーター&ジグソーテーブルをお持ちの方へ

ジグソーをスライドプレートに取り付けるには、図4のようにコーチボルト(F)とトップクランプ(I)のみを使用します。図のように平ワッシャ(K)、スプリングワッシャ(G)、蝶ネジ(J)の順に取り付けて固定します。



ジグソーの刃は、スライドプレートにあるジグソー用の溝の中心に来るように固定します。

もしも、お手持ちのジグソーベース部のサイズや形状が珍しいタイプの場合、スライドプレートにドリルで穴を開け、1カ所以上のクランプの位置を変える必要があるかもしれません。もしくは、ジグソーのベース部に穴をあけて、直接スライドプレートに固定する方が良いかもしれません。

ジグソーを反転させて使うのは、トリトン社製ルーター&ジグソーテーブルと併用する場合のみとさせていただきます。※ルーター&ジグソーテーブルは現在販売されておりません。



Manufactured by Triton

Triton社 日本輸入販売総代理店

株式会社 リーベ

千葉県船橋市前原西2-17-12 DOGO津田沼ビル

<http://www.triton-japan.com>